



10月13日(日)～14日(月・祝)、男鹿市戸賀コミュニティセンターにて「耕作放棄地をまた耕してできた『収穫祭&内山節講演会』」が行われました。(主催：かもあおさ笑楽校、境界なき土起こし団)

13日午前は男鹿の浜辺に打ち上げられた流木を使った農園の看板作りに汗を流し、昼食は収穫したジャガイモから作った郷土料理のアンブラ餅などに舌鼓を打ちました。午後は哲学者内山節さんの講演に耳を傾け、その後「げっとTHEすまいりー♪」による生演奏ライブを楽しみ、県内外から駆けつけた参加者たちは和やかな1日を過ごしました。

●特集●

地域資源を活かす

●NPOトピックス●

市民活動×AI / 見て、植えて、白神山地体験 / 12月は寄付月間です

●あきたスグッチファンド情報●

第31回あきたスグッチファンド助成事業 採択団体 / 過去の採択団体の事業紹介

●information●

助成金情報等



鳥海山麓自然学校

代表 早川 恵さん

鳥海山の麓には豊かな自然が広がっています。地元の山を地域の人たちと活用しながら守りたいと4年前に「鳥海山麓自然学校」を立ち上げ、実り豊かな秋の森で遊んだり、雪の積もった冬の森をスノーシューを履いて散策したりと季節ごとのアクティビティを提供しています。

地域の良さを伝えたい

代表の早川さんは、鳥海山・飛鳥ジオパーク認定ガイドや自然観察指導員としても活動しています。「地域には『遊ぶところがない』と言われることがあるが、大人も子どもも楽しめる場所はたくさんある。子どもたちには進学や就職などで県外に行く前に、自分たちの住んでいるところの良さを知ってもらいたい」と体験を通して鳥海山麓の魅力を伝えています。



森の散策の様子

五感で感じる自然体験



ブナの実を炒ってみました

秋晴れの続いた10月12日(土)～14日(月・祝)、由利本荘市猿倉地区のブナ林で「鳥海山麓子ども自然学校」と題した自然体験会が行われ、13日は由利本荘市やにかほ市内の小学生と親子など12名が参加しました。

最初に森の中に自分たちでテントを設営。そこを拠点に自然観察や野外クッキングなどを楽しみました。この日の参加者はリピーターも多く、子どもたちは慣れた様子で木登りをしたり、木々の中を駆け回りカエルやトカゲを捕まえたりしました。

その後、みんなで秋の森の散策に出かけ、ミヤマカタバミの葉で10円玉を磨いたり、落ちていたブナの実を拾って食べたりと自然の恵みを満喫。

両親と兄の家族4人で参加した女の子は、木に吊るされたハンモックで揺られながら「ここにずっといたい。ここで暮らしたい」と笑顔を見せていました。

地域の自然や文化、地域資源の活用

同団体では地球環境基金の助成金を受け、今年度から3年間にわたり「鳥海山東麓山村域におけるアカショウビンの棲むブナの森ビオトープの保全再生事業」に取り組んでいます。山形大学による調査・研究および湿地の周辺を整備し、「自然環境の保全」「観光・地域振興」「環境教育の場」としての活用を目指しています。

「この地域は湧水や伏流水など鳥海山の豊かな水があり、水力発電や地元につながる文化・知恵がたくさんある。そのことを伝え残していきたい。そのために環境教育ツアーの実施や、地域の人たちと協力して地域資源を活かした事業を創出できる人材も育成したい」と早川さんらは活動を続けています。



森の中のハンモックを楽しむ子どもたち

【連絡先】 E-mail : kokomade222@gmail.com

秋田は豊かな自然や農産物、人々のつながりなど、さまざまな資源があります。

今回の特集では、観光振興や環境保全・環境教育など、県内各地の地域資源を活用した取り組みを行っている団体を紹介します。

NPO 法人 nasu 地人協会

理事長 鎌田 展 禎さん

この法人は任意団体「茄子地人協会」として2009年大潟村で発足。男鹿の観光案内地図の作成や男鹿市指定無形文化財「琴川のすげ笠」調査、廃校舎を活用したイベントなどを行っていました。その後、2019年に法人格を取得。名称を「nasu 地人協会」と改め、県内の地域資源を再生・創造し、地域間の連携や地方と都市の交流・関係人口の拡大を目的に活動を展開しています。団体名は岩手県花巻市で宮沢賢治が設立した「羅須地人協会」から名付けました。

旧空港道路周辺の活性化・ 地域の魅力発信

10月12日(土)～13日(日)、秋田市雄和華の里エリアで「雄和よりみちフェス♪」が開催されました。このイベントはコロナ禍による2年間の中止を経て、今回30回目を迎えます。同法人は12年前から運営を引き継いでいます。

雄和のダリア園に隣接した会場では、雄和産のねぎを使った限定カレーの販売や飲食店ブース、地元農産物販売、竿灯妙技、ロバとのふれあい、色とりどりの傘を配置したフォトスポットの設置など、多彩な内容で来場者を迎えました。ダリア園も見頃となり、2日間の来場者は8,000人に上りました。



晴天に恵まれた「雄和よりみちフェス♪」の様子



会場内に設置された写真映えするフォトスポット「アンブレラスタ」

地域の企業や団体の協力

昨年の開催では駐車場が満車のため来場をあきらめた人もいたことから、今年は近隣からシャトルバスの運行も行いました。地元の伊藤工業株式会社からシャトルバス用の車、JA秋田なまはげ雄和支店から発着用の駐車場の提供、雄和市民協議会には運転手を探してもらったり、駐車場の誘導は若者サポートステーションに通っている人に担当してもらったりと、イベントにはさまざまな団体等からの協力があります。



雄和の観光名所「秋田国際ダリア園」

周辺にあるものを活用して 価値を高める

理事長の鎌田さんは「ダリアだけではない雄和の魅力をパッケージ化して知ってもらいたい。また今あるものだけではなく、それを活かしてさらに創っていかなくてはならない」と地域にあるものを活かした多方面からのアプローチの必要性を強調します。

活動を続ける中で、シンガーソングライターの板橋かずゆき氏から雄和のイメージソングの楽曲提供を受けるなど、応援の輪が広がっています。

「雄和だけに目を向けていては駄目で、人材も広域で移動しなくてはならない。雄和だけや男鹿だけではなく、人口の多いところにアピールして人と物をつないでいきたい」と地域のこれからを見据えています。

【連絡先】 E-mail : info@nasu.akita.jp

市民活動にAIを活かす (ChatGPTの利活用)

10月19日(土)、遊学舎にて『NPOのためのChatGPT体験講座』が行われました。ChatGPTとは、対話型の生成AIサービスです。インターネット上にある膨大な情報などを元に学習し、指示や質問に応じた回答を生成します。

今や日常生活の中でも頻りに聞かれるようになった「AI(人工知能)」ですが、市民活動の中でどのように使っていくかはまだ予測はつきません。講座ではChatGPTを使ってイベントの企画と寄付を募る文章を作成。実際に試してみることで、どのような活用ができるかを体験しました。

まずはChatGPTに『ゴミ拾いイベントの企画』を依頼。当日のスケジュールやゴミ拾い対抗戦、クイズやエコバックの作成などいろいろな内容が提案されました。続いて『NPOへの寄付のお願い(依頼文)』では、社会の状況や団体の窮状を訴え、寄付をお願いする文章が作成されました。条件や希望など細かい指示をすると内容もそれに伴い変化します。そのほかにも要約や文章を整えたり、翻訳ができたりと幅広い対応が可能とのことでした。

指示や質問に対する回答が必ずしも的確で正解とは限らないため、利用時は注意が必要ですが、NPOでどのように活用していくか注目されます。みなさんの活用事例もぜひお寄せください。



企業の社会貢献活動 (CSR)



見て、植えて、白神山地体験

共催：NPO 法人日本 NPO センター、NPO 法人あきたパートナーシップ
協力：NPO 法人あきた白神の森倶楽部 協賛：三菱重工業株式会社

11月3日(日)、ユネスコの世界自然遺産「白神山地」について学び、体験するイベントが藤里町の岳岱周辺で開催されました。これは、市民参加型の生物多様性保全、次世代育成および地域貢献として三菱重工株式会社の寄付により実施。藤里町を拠点に白神山地周辺の自然ガイドや環境教育、植樹活動などを行っているNPO法人あきた白神の森倶楽部が協力しています。

当日はブナの植樹や原生的なブナ林である岳岱自然観察教育林の散策など、紅葉の時期を迎えた白神山地の豊かな自然を堪能しました。体験することで自然の良さを感じ、生物多様性の保全や持続可能な社会について理解を深める一日になりました。



12月は寄付月間です ~ Giving December ~

12月は寄付について改めて考え、行動するきっかけとなることを目指した寄付月間です。近年ではクラウドファンディングが広く知られるようになり、寄付を身近に感じる機会も増えました。また売り上げの一部が寄付される商品の購入など、寄付の方法もさまざまあります。

年の瀬を迎えるこの時期、クリスマスや記念日の贈りものを選ぶ時など、少しだけ寄付先のことを思い浮かべて心を寄せてみてはいかがでしょうか。





あきたスギッチファンド情報



審査会の様子

第31回あきたスギッチファンド助成事業 採択団体

公開審査会：10月30日実施 事業期間：10月31日～2025年8月31日

●第4回秋田県包括連携協定締結企業によるSDGs応援事業



詳細はこちらからご確認ください
(あきたスギッチファンドHP)

ファンド名	助成決定団体名「事業名」
(株)伊徳 環境保全活動ファンド	特定非営利活動法人工房JOYさあくる「廃食用油のリサイクルによる地域循環活動を進める持続的取組」
	特定非営利活動法人はちろうプロジェクト「八郎湖旧湖岸の自然共生サイト認定を目指す！生きもの調査&ワークショップ事業」
ダイドードリンコ 子育て支援ファンド	アキタボイス朗読協会「アキタボイス朗読協会主催・堀井美香さんクリスマス朗読会(仮)」
日本生命 健康づくりファンド	あきたポールウォーキングクラブ「『ポールを持って歩く会秋田大会』の開催」
明治安田 未来世代応援ファンド	liriliroDamboo「新感覚親子リトリート『リアルごっこ遊び』」
	公立大学法人秋田若者活性化委員会FROM PROJECT秋田「秋田若者活性化委員会FROM PROJECT秋田第14期」
NTT東日本 ICTを活用した街づくり (地域課題解決)支援ファンド	NPO法人みらいの学校「本町通りは華やかでナイト！『カラーライトストリートプロジェクト』」
第一生命保険(株)秋田支社 災害対応サポートファンド	秋田災害支援プロジェクトalecole「災害時の関係機関の連携強化および被災者の居場所づくり事業」
損害保険ジャパン(株) 地域づくり支援ファンド	ストピリエゾン「ストピリエゾン リレーコンサートキャラバン」

●冠ファンド

ヨコウン つながる次世代ファンド	まちなかトープ「みんなの居場所づくり」
	NPO法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会「『石脇通りを浴衣で歩こう！』『裸まいを応援しよう！』再開プロジェクト」

●本ファンド（秋田県内で行われる地域課題の解決や社会に貢献する活動）

10万円コース	NPO法人白瀬南極探検100周年記念会 「冒険家 夢を追う男『阿部雅龍君をしのぶ集い』」
	一般社団法人あきた就労サポートOne 「引きこもりさんの支援をラジオから」
	特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ 「女性と子どもを守るサポート体制周知事業」

第30回あきたスギッチファンド助成事業採択団体の事業紹介

【団体名】 **ローズセブン** (秋田市) 会長 **田中幸子さん** 【事業名】 **地域交流**



オープンガーデンの様子

秋田市茨島7丁目にあるオープンガーデンは、地域のみなさんが花と野菜畑を眺めてお話をする交流の場になっています。会長の田中さんは、地域の方が世代を問わず気軽に集まれる場所をつくりたいと昨年から活動を始めました。春と秋にはフリーマーケットを開催。さまざまな交流の機会を創出し、地域活性化に取り組んでいます。「庭づくりをしていると地域の方が声を掛けてくれたり、花の育て方を教えてくれたりと会話が増えました。町内会や近所の方など、いろいろな人に協力してもらっています」と周囲のサポートへの感謝を話します。

またオープンガーデンの向かいでは、副会長の松山誠子さんが空き家になった実家を活用し、オープンカフェ「ALOHA」を行っています。ここでは地域の方がお茶を飲みながらおしゃべりや手芸などを楽しんでいます。

地域のつながりが見直される中、県内各地でこのような取り組みが広がることが期待されます。



みんなで楽しい時間を過ごします
(オープンカフェ「ALOHA」)





▶ POSC社会貢献活動支援のための助成

①パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業への支援 ②子どもの健全育成に取り組む事業への支援
【助成金額】1件150万円以内 【メ切】12月9日(月)15時
【問合せ】(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構 事務局
☎ 03-5227-1047 E-mail: josei-jigyo@posc.or.jp

▶ サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金

チャレンジド・スポーツ(パラスポーツ)の未来を担う若手アスリートと各協会・競技団体等が対象
【助成金額】50万円をアスリート1名および各協会・競技団体等に支給 【メ切】12月9日(月)
【問合せ】(公社)日本フィランソロピー協会「サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金」事務局 ☎ 03-5205-7580

▶ 生き生きチャレンジ2024福祉作業所助成事業

障害者が働く福祉作業所を支援。障害者の雇用確保や賃金・工賃アップのために売り上げアップを目指す設備投資費などに助成
【助成金額】1事業所につき上限50万円 【メ切】12月10日(火)
【問合せ】読売光と愛の事業団・作業所係
☎ 03-3217-3473 FAX 03-3217-3474
E-mail: hikari-ai@yomiuri.com

▶ 日社済 社会福祉助成事業

社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対して助成
【助成金額】1件あたりの上限50万円 【メ切】12月15日(日)
【問合せ】(公財)日本社会福祉弘済会 ☎ 03-5858-8125

▶ プラチナ・ギルドアワード

日本社会が抱える様々な社会課題の解決に向け日夜奮闘している個人または団体を顕彰
【賞品】賞金(10万円)と賞状 【メ切】12月15日(日)
【問合せ】プラチナ・ギルドアワード事務局
<https://forms.gle/rGFfuZe3CQauKBqUA>(問合わせフォーム)

▶ 公益財団法人あすなる福祉財団

【対象および助成金額】
①障がい者の自立及び社会参加に関する各種の活動：10万円～

300万円 ②障がい福祉サービス事業所等の設備整備及び環境改善：10万円～ 400万円 ③障がい者の文化・芸術・スポーツの振興のための諸活動：10万円～ 200万円
【メ切】12月20日(金)
【問合せ】(公財)あすなる福祉財団 助成金申請係
E-mail: info@asunaro-zaidan.or.jp

▶ パイロットクラブ・チャレンジ助成金

共生社会を目指して、福祉向上に関わる活動実績が3年以上のボランティア団体が対象
【助成金額】1団体あたりの上限30万円 【メ切】12月20日(金)
【問合せ】パイロットインターナショナル日本ディストリクト「パイロットクラブ・チャレンジ助成金」係
E-mail: pilot.international.japan@gmail.com

▶ エフピコ環境基金

①環境保全活動 ②環境教育・研究 ③「食」課題解決・「食」支援に関わる活動
【助成金額】1案件あたり上限200万円/年 【メ切】12月23日(月)
【問合せ】エフピコ環境基金事務局
E-mail: fp-kankyokikin@fpco-net.co.jp

▶ 積水ハウス マatchingプログラム

①こども基金：子どもたちの幸せ・育成に関わる活動を支援
②環境基金：環境配慮・地域活性化に関わる活動を支援
【助成金額】1活動あたり上限 原則200万円 【メ切】12月27日(金)
【問合せ】積水ハウス(株)積水ハウスマatchingプログラム事務局
E-mail: sh-mat@sekisuihouse.co.jp

▶ 住まいとコミュニティづくり活動助成

①コミュニティ活動助成：地域づくりやコミュニティを基軸にした広範な市民活動
②住まい活動助成：住宅や歴史的建造物などの建物を活動対象にして、多様な住まいまちづくりの活動
【助成金額】1件あたり120万円以内 【メ切】2025年1月10日(金)
【問合せ】(一財)ハウジングアンドコミュニティ財団 助成係
☎ 03-6453-9213 FAX 03-6453-9214

県北、県南の市民活動に関するご相談はこちらへ

- 秋田県北部市民活動サポートセンター
大館市馬喰町48-1 TEL: 0186-49-8553
- 秋田県南部市民活動サポートセンター
横手市神明町1-9 TEL: 0182-33-7002

秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎 あきた中央市民活動サポートセンター

- 開館時間 (月～土) 9:30～21:30
(日・祝) 9:30～18:00
年末年始(12月29日～1月3日)を除いて毎日開館しています。
- 〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2
- TEL: 018-829-5801
- FAX: 018-829-5803
- E-mail: yutori@circus.ocn.ne.jp

サポセン★スタッフトーク

数年前まで私にとっての音楽は、その時流行っている曲をなんとなく聴くことでした。あるとき、流れてきたある曲を聴き、自分のことを歌ってくれているのかと思わせてくれるバンドに出会いました。嫌いな自分をほんの少しだけ許せるような不思議な感覚でした。本当に運よく先月そのバンドのLIVEに参戦でき、忘れられない1日になりました！今年も残り僅かですが、自分の好きなことに向き合ってみてはいかがでしょうか。(鈴貴)

